

特定非営利活動法人チャレンジド チャレンジド通信 第44号

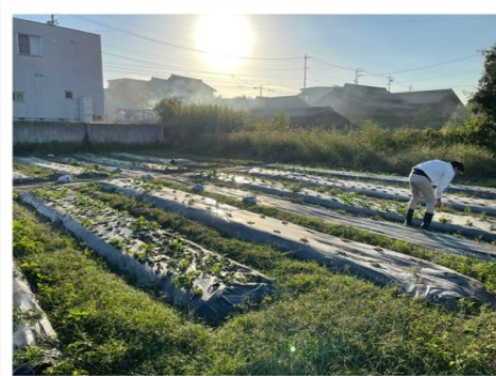
発行 令和4年11月 ○発行責任者 辻直哉 ○編集担当者 木下努 宮本佳輝

「誰もが参加でき、共に輝き、 繋がれる場所へ」

○ 自然栽培プロジェクト始動しました！

～このプロジェクトで目指すもの～

- ・ 障害のある人もない人も楽しく交流する機会を創る！
- ・ 障害のある人の日中活動・働く場・居場所を創る！
- ・ 仲間と共に地域の課題（耕作放棄地等）の解決に貢献する！



今年度事業計画に掲げている「地域に必要なとされる日中活動の場を創る」ため、事業所見学や研修、月1回の検討会を重ねてきました。その中で、化学農薬・肥料を使わず自然と共生共創して農業を行う『自然栽培』と出会いました。

美浜町では高齢化に伴い畑作業ができず、耕作放棄地となっている畑も多くあると聞きます。その大切な畑をお貸し頂き、地域で生活する障害のある仲間や地域住民の皆様、日本福祉大学の学生らとともに農作業を行い、参加者同士の交流や障害のある人の社会参加の場を創っていきま

す。そして、将来的には障害のある人や地域で困っている人の日中活動の場（居場所）・働く場（生きがい）の創出へ繋げることを目指して自然栽培に取り組んでいきます。障害のある仲間たちと自然栽培に挑戦することで、自分の得意を活かしながら楽しく活躍ができ、地域と繋がり、障害のある人もない人も地域で共に汗をかき、共に楽しみ笑い、「共に学び共に生きる」社会を目指して自然栽培への挑戦をスタートします！



次ページへ続く→



過去にお借りして野菜づくりをしていた畑を再びお借りし、自然栽培への挑戦を今年の夏からスタート。数年間耕作が行われていなかったため草刈りから始まり、刈っても刈っても草は生えてきてたくさんの労力がかかりました。雑草魂とはよく言ったもので、自然の力強さを感じさせられます。（自然栽培においては刈った草も畑で分解され自然に戻したり、マルチとして活用します。）畝をつくれる状態になってからも悪天候が続きスタートからなかなか思い通りに行かない日々が続きました。天候を考慮して畝づくりを行ったため、種まきが間に合わない不安もありましたが、ほとんどの作物がしっかりと芽を出してくれました！日々感動の連続です！その中でも少しずつですが、チャレンジドで活動する学生さんや、利用者さんも畑を手伝ってくれています。



職員を含め、メンバー全員が農業経験がほとんどない中スタートとなりますが、スタート当初から『自然栽培パーティ』（全国の障害者が自然栽培に取り組み、ニッポンを健康にする、障害者や農家や地域でともに暮らす人々をワクワクさせる活動）の磯部様にご支援ご協力を頂き、日々相談をしながら活動しています。このプロジェクトが始まって以降、地域の方に草刈り機などの機材をお借りしたり、法人理事さんが毎日畑の前を通って様子を確認してくださったりと多くの方に支えて頂いています。関わってくださる方々への感謝の気持ちを忘れず、この取り組みを前へ進めていきます。今後もSNS等で情報発信していく予定です。みなさんとも一緒に畑で汗を流すことを楽しみにしています！ 今後は畑をさせていただける土地を探しながら少しずつ育てられる野菜を増やしていく予定です。奥田周辺で農地の管理でお困りの方いらっしゃいましたら是非私たちに野菜作りをさせてください！ よろしく願いいたします！（津江）



○ ヘルパーステーションNEO ～Topix 1～



9月10日(土)にとよいちさんとBBQ企画を実施しました。この企画はヘルパーステーション利用者のHさんが「何か楽しいことがしたい」「実はスイカ割りをしたことがない」という素朴な声がきっかけで始まりました。そこから彼を中心に職員と企画を立てていく運びとなり、言葉を交わすうち段々と「自分の将来を考えるきっかけを創りたい」「自分の後輩が楽しいと思える機会を増やしたい」そんな思いもあらわになり、7月頃から業務の合間を縫っては企画の準備を行いました。当時、世間で新型コロナウイルスが再び流行し始めたことを受け本企画を実施するにあたっての様々な葛藤がありましたが、Hさんと職員で何度も試行錯誤と話し合いをした結果、参加人数を最小限とし感染症対策を万全として開催するに至りました。また、別地域で自立生活をされている車いすユーザーにも協力を仰ぎ、BBQをしながら自立生活についての素朴な疑問を語り合う場としても企画を練り直して実施しました。協力いただいた皆さん、本当にありがとうございました。今回の企画実施を経て、Hさんを始めとしたこれからの生活を考える若い当事者の仲間たちが自分の夢や目標を改めて考えるきっかけを創れたのではないかと思います。今後も企画継続を予定しておりますので、皆さん続報を楽しみにお待ちしております！（小林）



〇ヘルパーステーションNEO ～Topix2～

コロナの影響を受けて、外出の制限や頻度の調整をさせていただくなど、利用者の皆さんに日々感染予防に関してご理解をいただきながら提供を続けてきました。そんな中でも少しずつ、電車での移動や遠方への外出が可能になってくると、ほんの少し利用者の皆さんの笑顔も増えてきたのでは？と感じています。利用者さんの中には、生活リズムの変化によって支援の工夫を必要とされる方々もいらっしゃいました。少しでも本人が安心して支援を利用できるようにと、職員が中心となってケース会議や支援の検討会を適時実施し、更なる支援の質の向上に努めています。それと並行して多くのヘルパーさんが活躍してくださり、利用者さんそれぞれができることも少しずつ増え、皆さんの成長とパワーを感じる毎日です。自立に向けた本人さんの得意を伸ばすお手伝いになる利用者目線の支援をより強化していくために、職員各位も勉強中です。これからも皆さんとともに学びながら、より良い支援の充実を目指していこうと思います。（小林）



〇日中一時支援 ちゃれんじクラブ ～Topix～



開催日数を月に1～2回で開催しています。前任者からの引き継ぎを受け、現体制でも変わらずよりよい活動のご提案ができないかと思案しながら実施しています。8月はチャレンジドでちぎり絵の工作とプール遊び。9月1回目は日本福祉大学生のサービスマーケティングと共同し、モンペリーインテリアで畳表を使っていぐさコースター作りを行いました。2回目では新美南吉記念館へ散策しました。

利用者の皆様一人ひとりが笑顔にあふれ、盤石とはまだ言えないものの少しずつ活気ある活動を広げられています。感染症対策は勿論、今後は知多半島外でも行えるよう考えております。ちゃれんじクラブでの取り組みが、利用者の皆さんが地域をより知り、より好きになるきっかけになっていくよう、様々な企画を検討・予定しておりますので、ぜひ今後の企画もご期待ください。（遠藤）



今後のちゃれんじクラブの予定

12月	みんなでクリスマス会だ！
1月	みんなでお出かけしよう！
2月	節分をしよう！

※内容は変更する場合があります。

チャレンジドOG・OBの皆さんからも沢山の

メッセージを頂きましたので、一部ご紹介します。

こうじさんとは私が大学生の時から付き合いで、卒業してからもお宅にお邪魔させてもらうことができました。その時も学生時代と変わらないやりとりが出来たことが嬉しかったですし、こうじさんパワーが仕事で疲れた心を癒してくれました。「こうじさん、こんにちはー」とお宅へお邪魔するとリビングから「は～い」とお返事してくれたことがつい最近のように感じます。お宅へお邪魔するとクシャクシャの笑顔で色々な話をしてくれましたね。友達として色々なところへ一緒に出かけましたね。元気なメンバーと一緒にだったので疲れませんでしたか？笑 会って来て、思い出を一緒に作って、本当にありがとう！！こうじさんや、たくさんと仲間と出逢わせてくれたチャレンジドへも感謝致します。本当にありがとう。

チャレンジドヘルパーOG 塩入寛未



私が大学生生活を思い出すとき、様々な楽しかった思い出にこうじさんもいてくれました。大らかな人柄と笑顔を忘れません。 チャレンジドヘルパーOB 小野塚建太

晃治さん、みんなで学生に戻った修学旅行楽しかったですね。地域で生きることを体現される姿を見て、私も続けていきたいと思っています！

チャレンジド元利用者 自立生活センター十彩 中野まこ

晃治さんは私にとって恩師です。人と関わる事の楽しさ、難しさを晃治さんと関わる中で学びました。私が福祉の仕事に携わりたいと考えたきっかけとなった大きな存在です。ありがとうございました。

チャレンジド元職員 有島真喜

晃治さんは、福祉職に就きたいという思いにさせてくれたきっかけになってくれた方でした。学生の頃、障害のある方が一人暮らしをしていることに対して正直否定的な自分がいました。そんなある日、支援に入った際に「自分がこの家を命尽きるまで守っていくためには、君が必要だからこそ本音で語り合おう。」ということ伝えて下さったことがありました。そこから晃治さんと語り合う内に、自分の中で晃治さんに惹かれ彼の生活を応援したい・願いを叶える手伝いがしたいと思ったことを強く覚えています。僕にとって人生の師匠のような方でした。語りきることが出来ないほど、晃治さんとの思い出はたくさんあります。そんな大きな存在だった晃治さんの思いを胸に、彼に続く自立生活の選択肢を地域に創っていききたいと思えます。本当にありがとうございました。

チャレンジド職員 小林弘武



彼が残した想いや温かさ・地域での自立生活への想いを胸に、

チャレンジドはこれからも歩み続けます。

○ 日中一時支援(就労)SPT(えすぴーていー)～Topix～

名刺に点字を入れてみませんか？

ご依頼頂いた名刺に、障害のある人が手作業で点字の印刷をおこないます。皆様のご依頼が、利用者さんの給料につながります。



点字のご依頼は以下までご連絡下さい。

電話：0569-87-6727

Mail：npochallenged@y2.dion.ne.jp

名刺点字プリント代金	
ご依頼枚数	点字代金
50枚	1,250円
100枚	2,000円
200枚	3,500円

内訳は点字名刺1枚15円

ピンセット代500円となります。

○ 特別寄稿「～田中晃治さんを偲んで～」

昨年12月16日にご逝去された田中晃治さんを偲び、最期まで地域での自立生活を続けた彼を忘れないようにとの思いから、ペンをとらせて頂きました。

彼は幼少期「就学免除」という制度で学校には行けなかったそうです。ヘルパー制度が施行され、ヘルパーの介助を利用して生活を送られていました。「重度訪問介護」という制度を使って夜間は日福大の学生介助者の力も借りて生活し、65歳を迎えてからは介護保険も利用しながら最期まで地域での生活を継続・貫き通されてきました。

地域での生活し続けられたことは本人はじめ、ご家族、行政、相談支援員、福祉サービス事業者など多くの方の連携や努力がありました。晃治さんと共に生きる社会を実現してきた美浜、知多南部地域に感謝をお伝えするとともに、心から誇りに思います。

私の学生時代に、就学免除で修学旅行へ行けなかった晃治さんの「修学旅行へ行きたい！」という想いを実現するために学生が中心となって旅行を企画しました。学生服を纏って三重県や静岡県に旅行へ行きました。他にも毎年恒例のBBQ、みんなで集まっての年越し会など様々な催しを企画させて頂いていく中で、みんなが晃治さんとのところに集い、居場所となっていました。長年チャレンジドの研修でも彼の経験や想いを受講生へ伝えてくださり、法人運営にも精力的に助力して頂いていました。現行の職員をはじめ、晃治さんと関わった学生や介助者たちはその間多くのことを学び、感じ、考え、社会に羽ばたいていきました。私自身も晃治さんと出会えたことで多くの人と繋がり、貴重な経験や挑戦、かけがえのない時間を過ごさせて頂き、今の自分があります。本当に心から感謝しております。

みんなを幸せにする満面の笑顔を浮かべながら、障害があっても地域で生活し続け、色々な人と繋がってきた晃治さんのご遺志を受け継いで、これからのチャレンジドを創っていきたいと思います。心からご冥福をお祈りします。どうか私たちのことを見守ってください。(津江)



○ チャレンジド法人研修 ～Topix～



チャレンジドでは支援の資質向上のため、年間研修を実施しています。

06/30(木)[家事援助の基本～調理実習～]登録ヘルパーからの要望があった調理実習をようやく開講することができました。実習では、「卵の巾着煮」、「ひき肉のはさみ焼き」、「ピーマンのおかか醤油」、「味噌汁」の4品を調理し、調理技術を身に付けて頂きました。



07/14(木)[介助の基本～ボディメカニクスについて～]支援者が身体を痛めないための効率的な身体の使い方「ボディメカニクス」について学びました。研修は座学と共に実技を行い、ボディメカニクスの重要性を実感しました。

09/22(木)虐待防止と身体拘束の適正化について法人全スタッフへ「虐待防止と身体拘束の適正化について」をDPI日本会議、崔榮繁氏を講師に迎え行いました。(木下)



今後のヘルパー研修の予定	
12月15日	「救命救急～心肺蘇生・AED研修～」(知多南部消防署)
1月12日	「知的・発達障害の特性について」(靱山えり氏)
2月9日	「虐待防止と身体拘束の適正化について」(オンライン)

○ チャレンジド福祉啓発事業

美浜町社会福祉協議会からのご依頼をいただき、8月から11月にかけて奥田小学校、野間小学校、布土小学校での福祉実践教室の講師派遣を行いました。

実践教室を行う際は講師担当の柳原が中心となり、職員やヘルパーの手を借りて創意工夫を凝らした教室をお届けしています。手動車いす体験を通していつもの何気ない段差がとても大きなバリアを体験してもらうのと併せ、障害当事者の生活を伝えることで「生活の中での選択肢の少なさ、それをどうしていけば社会全体で増やしていくことができるのか」が伝われば・・・」そんな願いを込めて皆さんにお話しをさせて頂いています。

8月に行った奥田小学校では、久しぶりの実施に緊張と戸惑いの中で臨んだ形となりましたが、参加してくれた生徒の皆さんの暖かな雰囲気と多くの質問もありそんな緊張感はいつの間にか解けて無くなっていました。おかげで講師の柳原もののびのびと自分の生活を伝えることができました。



野間小学校では、実際に電動車いすを手動で押す体験を体験していただきました。生徒全員が参加したので長蛇の列。どの生徒さんも慎重になにより大切に電動車いすを押そうとする様子が見られ、「未来のヘルパー候補がたくさんいて頼もしい」と強く感じました。

続く布土小学校では実践教室の間に大放課を挟み、放課の時間を生徒さん皆さんとポッチャをして過ごしました。練習の成果を存分に発揮する生徒さんたちは本当に輝いて見え、この時間を大切にしたいと改めて実感させられるのでした。後半は講師の柳原・黒木が自身の生活を紹介します。感情豊かに反応してくれる生徒の皆さんがまた質問をしてくれる・・・その繰り返しでした。そんな質問の中に、電動車いすの重量やバッテリーがなくなったときの対処法などについての質問がありました。講師がそれに応えると、「すげー！そんな風になってるって知らなかった！！」などとても大きな反響がありました。今後もしもご依頼があれば、講師陣が中心となり、当事者のこの思いを伝えにお伺いできればと思います。(柳原)

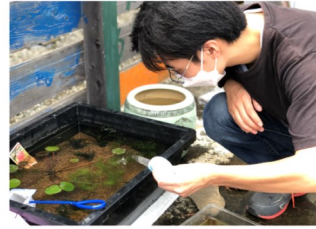


〇チャレンジド水族館プロジェクト



コロナ禍を経て、自宅で生き物と触れ合う楽しみを見出した方も多いのではないのでしょうか？スタッフや職員らの趣味も話し、チャレンジドでもそうした動きが始まっています。

車いすの仲間らと学生スタッフを中心に、法人玄関を彩る水槽を管理する「チャレンジド水族館プロジェクト」を今年7月から始動しました。ただ観賞魚たちを飼育観賞するだけではなく、準備や飼育のプロセスを経て障害のある仲間たちの趣味や余暇の創造をしていくことが一つの目的ですが、ゆくゆくは地域貢献や自然栽培に次ぐ就労のパーソンとして機能していくことを目標にしています。現在では2名の車いすユーザーと5名の学生スタッフでプロジェクトチームを結成し、チャレンジド敷地内でのメダカの繁殖・観賞用熱帯魚の飼育を実践しています。チャレンジド内外問わず少しずつですが仲間を集め、誰もが共に楽しみ・癒され・生きがいとしていけるものを創造していきます。法人玄関と庭に設置してありますので、お立ち寄りの際はぜひご覧になってみてください。（宮本）



〇お知らせ ~more~

〇イベント「映画上映会＆茶和会」を行います！

11月26日（土）13:00～16:00 奥田南区民館にて開催します。

上映会と合わせてゆったりゆったりお茶しましょう。参加枠に余裕ありますので是非ご参加ください。

〇あなたの大切な畑、お貸しいただけませんか？「畑、探してます！！」

美浜町・南知多町で自然栽培をさせてくださる農地を募集しています。

お困りの方はお気軽に法人担当者へお問合せください。

〇「重度訪問介護従業者養成講座」随時開講しています！

ヘルパー活動のスタートダッシュに。詳細は法人SNS・HP等ご覧ください。

〇職員・パート・アルバイト大募集！

常勤非常勤・男女問わずチャレンジドで働きたい方を募集しております。

詳しくは法人事務局へお気軽にお問い合わせください。

〇法人HP・ロゴ・リーフレット・法人看板など随時リニューアルしています！

法人HPは随時更新中、新ロゴ・リーフレットも近日お披露目予定です。ご期待ください。

〇各種ボランティア募集中！

畑作業・熱帯魚やメダカの管理・一芸を地域に活かしたい方・働く以外で何かしたい方etc

まずはお気軽に法人事務局へその旨ご連絡ください。

〇探しています！お譲りください！

メダカ鉢 不要になった水槽や設備 農具 おもちゃ 絵本

※保存状態の悪いものは受け取りをお断りする場合がございます。ご了承ください。

〇チャレンジド通信column「ちゃこらむ」スタート！

法人メンバーたちから見た、美浜の魅力やあれやこれやをお届けします。

皆さんこんにちは。福祉啓発担当の柳原です。今回から職員リレーで連載をすることになりました。



今回は「最近感じる美浜町のこまったスポット」と題して私が感じていることを少しご紹介したいと思います。スポットはいくつかあるのですが今回は「大学から知多奥田駅に抜ける細道」です！大学の正門前からのびているのですが、道幅が1m程度と狭く、車いすユーザーや自転車ユーザーとすれ違うときはギリギリまで寄らなければいけません。しかもすぐ横が崖になっているのと柵がないので、毎回ヒヤヒヤしながら利用しています。外灯がなく夜に通ろうと思うと目の前の道が見えずとても怖いです。数年前に障害学生が外灯の設置を求めたのですが、いまだに付いていないのが現状です。野間方面から駅に抜ける最短ルートでもあるので、非常に使い勝手が良いルートなので下宿民としては改善してほしいなあ〜と強く思っています。今後、美浜町のバリアフリーやおすすめのお店情報を発信していきます。お楽しみに！！

今回のNice Smile!!



チャレンジドSNS各種 日々更新中！

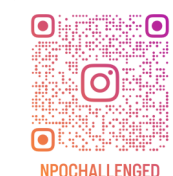
ホームページ



Facebook



Instagram



Twitter



特定非営利活動法人 チャレンジド

〒470-3233愛知県知多郡美浜町大字奥田字義路272番地

TEL 0569(87)6727 FAX 0569(87)6755

E-mail npochallenged@y2.dion.ne.jp



チャレンジド通信44号、いかがでしたでしょうか？盛りだくさんの内容で、チャレンジドの「今」をお伝えできていれば幸いです。今年も残すところ、2ヶ月を切りました。これから年末年始の慌ただしい時期を迎えます。皆様、体調に気をつけてお過ごし下さい。（木下）